

一般質問

市政への質問

一般質問は、市政に関わる市の考えを聞いたり、議員が政策を提案したりするものです。各議員の質問項目は下記のとおりです（質問順に掲載）。

① 新井 康一（日本共産党秩父市議団） 1 大雪の被害対策 2 保育所の今後と吉田学童保育室 3 市長の施政方針の中から	⑦ 荒船 功（市民クラブ） 1 水道事業 2 環境事業 3 新市まちづくり計画	⑬ 冨田 俊和（市民クラブ） 1 建設業界の実態と対策 2 農業政策の充実
② 江田 治雄（市民クラブ） 1 2014 豪雪災害時の危機管理 2 秩父映画祭を継続し、観光振興に繋げる 3 秩父ミュージックパークの将来に期待 4 秩父銘仙の活用策	⑧ 福井 貴代（公明党） 1 消費税増税時の臨時給付金の支給準備 2 市立病院でプチ検診導入 3 がん無料クーポンの利用率向上 4 雪害対策（SNSの活用・除雪・共助）	⑭ 大久保 進（公明党） 1 消防団の処遇改善 2 雑誌スポンサー導入
③ 出浦 章恵（日本共産党秩父市議団） 1 子育て支援新制度 2 田村の土砂たい積	⑨ 斎藤 捷栄（日本共産党秩父市議団） 1 医療介護総合推進法案と介護保険 2 「がんばる地域交付金」の活用 3 市長の施政方針と問題発言	⑮ 山中 進（日本共産党秩父市議団） 1 災害に対する危機管理 2 ソーラー発電の現状 3 路線バスと鉄道利用 4 市子ども子育て会議の取り組み状況は
④ 上林 富夫（新風） 1 危機管理 2 太陽光発電事業（エルゴ社）の現状 3 市政	⑩ 高野 宏（彩政会） 1 子育て支援 2 大雪対策 3 防犯カメラ・街路灯 4 町会運営	⑯ 木村 隆彦（市民クラブ） 1 市道幹線51号線の現状および今後 2 PFI事業 3 定住自立圏構想
⑤ 金田 安生（彩政会） 1 学校再編成 2 子供達が安心して暮らせる制度 3 新市庁舎への移動にあたっての体制	⑪ 金崎 昌之 1 大規模雪害・ピンチをチャンスに 2 熟年者向け定住移住の積極的展開 3 減額が続く秩父市の教育予算	⑰ 宮田 勝雄（市民クラブ） 1 大滝地域の今後のビジョン 2 空き家対策 3 観光資源 4 有害鳥獣対策
⑥ 松澤 一雄（彩政会） 1 道路網の整備 2 大雪の教訓と危機管理体制 3 健康づくり計画 4 文化財修理計画	⑫ 逸見 英昭（彩政会） 1 人口減少社会の到来に向けて 2 市民の声	

※ 市議会ホームページのインターネット中継で、一般質問の様子をご覧いただけます。

大雪の被害対策

日本共産党秩父市議団

新井

康一



問 大雪の被害に対する市の施策はホームページにはあるが、市民にはなかなか周知されていない。23日の私の指摘でやっと回覧がまわされたようだが、こういう災害では、行政の取り組みをいち早く知らせることが市民の不安を取り除くためには大切なことだ。もっと積極的にお知らせをすべきではないか。

答 市報3月号と一緒に合わせて町会に回覧文書を依頼した。

問 危機管理課や農政課など相談窓口がバラバラだが雪害対策として窓口を一本化できないか。

答 専門的な知識が必要なので現状では困難。危機管理課では適した窓口をご案内する。

問 損壊物の無料受け入れは「持ち込み」が条件だがトラックなど運搬手段を持たない人も多い。国では運搬も補助の対象だ。自宅まで回収に行くことはできないか。また期限が5月末だが延長することはできないか。

答 今後、国・県から示される具体的な対象事業範囲を見て検討する。期限も状況を見て検討する。

● 保育所の今後と吉田学童保育室

問 保育所の再編計画が示され、7年で定員を3割、施設も7から4に削減するという。保護者の意見は反映されるのか。

答 保護者や地元町会の意見を聞きながらすすめる。

問 吉田保育所は平成27年度改築というが、小学校の多目的ホールを間借りしている学童保育室を併設することは検討しているのか。学童保育室の移設も検討する。



雪の重さで倒壊したビニールハウス

一般質問

秩父ミューズパークの再生に期待して



市民クラブ 江田 治雄
えだ はるお

2007年西武グループより、土地・施設を秩父市に無償譲渡され今日に至っている。この施設は「秩父ミューズパークスポーツの森公園」として、管理・運営してきた。埼玉県が管理する区域については、指定管理者制度により、秩父開発機構・西武造園グループが行っており、秩父市が管理する区域は市が直営してきた。しかし、行政が経営することには限界があり、市の財政負担を考慮してレストラン、コテージ等の運営をこの4月から㈱フジヤマ・クオリティ社に委ねることになった。この会社は山梨県を拠点に多数、観光施設の経営に実績を上げている。公募で7社が名乗りを上げ、最終的に4社に絞り込まれ、その中から選定された。経営コンセプトが全社でバックアップすることもあり、また、富士急グループが全社でバックアップすることもあり、首都圏から近く、広大な面積を誇り、自然環境が優れた最高の場所を活用した観光施設となるように期待をしている。すでにレストラン東



新たに開設されたフォレストアドベンチャー

側の森の中に新たな施設の「フォレストアドベンチャー」が(有)パシフィックネットワーク社によりオープンした。森の樹から樹へ空中移動して行く、フランス発祥のアウトドアパークである。今後、秩父の観光振興に繋がるよう大いに期待している。

問 今後のミューズパークは。
答 経営を民間に委ねることで、プロの力を最大限に発揮し、活性化してくれることを期待している。

子育て支援新制度



日本共産党秩父市議団 出浦 章恵
いでうら あきえ

問 24条2項認定子ども園は直接契約ではないので自治体は責任が無いのかという質問の答弁は「一定程度負う」だった。一定程度とはどういうことか。
答 十分な確認を行い、施設の利用調整について対処していきたい。

問 市は情報提供のみで、利用調整の結果保育を受けられなくても仕方ないという事なのではないか。
答 保育を受けられない事がないようにしていく。

問 子ども子育て会議開催計画と専門部会設置の考えはあるか。傍聴はさせるのか、さらに議事録の公開はするのか。
答 児童福祉審議会は今年度中に1回、26年度に4回開催予定。傍聴も議事録の公開もできるようにする。

●田村の土砂たい積
問 業者によるたい積と、業者の分筆に係わる動向は。
答 平成25年3月事前協議書取り下げ以降、市は現場の状況調査。土地の分筆登記関係の確認をしているが特に変化は認められない。



土砂崩れが心配されるたい積

問 24条2項認定子ども園は直接契約ではないので自治体は責任が無いのかという質問の答弁は「一定程度負う」だった。一定程度とはどういうことか。
答 十分な確認を行い、施設の利用調整について対処していきたい。

問 市は情報提供のみで、利用調整の結果保育を受けられなくても仕方ないという事なのではないか。
答 保育を受けられない事がないようにしていく。

問 子ども子育て会議開催計画と専門部会設置の考えはあるか。傍聴はさせるのか、さらに議事録の公開はするのか。
答 児童福祉審議会は今年度中に1回、26年度に4回開催予定。傍聴も議事録の公開もできるようにする。

●田村の土砂たい積
問 業者によるたい積と、業者の分筆に係わる動向は。
答 平成25年3月事前協議書取り下げ以降、市は現場の状況調査。土地の分筆登記関係の確認をしているが特に変化は認められない。

問 県条例違反の業者による、たい積の現状と崩落の危険について、どのように考えているのか。
答 その後の土砂搬出はない。平成25年12月25日、秩父環境事務所長から受け入れ先が見つかり次第搬出するよう確認している。

問 業者に対する県の対応の甘さがある。撤去を求める強い指導と責任についてどう考えているのか。
答 指導強化を要請していく。

一般質問

危機管理について

●2月豪雪対処について

問 除雪で早い所、遅い所の差が出たのはなぜか。業者との契約はどのようなになっているのか。

答 14日午後2時頃、委託業者48社へ電話、ファックスにより除雪依頼。契約業者は21年の53業者から5業者減の48業者。3963路線のうち、353路線を機械の能力別に時間単価を設定。

問 大雪の苦情数はどれくらいか。

答 16日から21日までの概算だが、1日に1000件以上と推定。その後も続いている。内容は「除雪が遅いが最も多く、倒木や通行止め解除は何時か」などである。

問 自衛隊などの組織に派遣要請する時は通常、書面で行うのが常識だが、なぜ最初から電話でなく書面で要請しなかったのか。

答 明確な答弁なし。

問 大雪に対し職員への苦情が手紙や電話で多く寄せられたが、中には実名が書かれたものも多くあった。指導はどうなっているのか。

答 指導要綱にそって指導しているから、そんなことはない。



自衛隊の災害派遣

●太陽光発電事業の現状について

問 現在の状況はどんなものか。

答 2月25日に修正案をエルゴ社に送付し、現在は返答待ちである。26年8月までに事業開始不可能なら経産省の認可取り消しになる。

●市政について

問 各部所の26年度の出張予算および市長10回目の外遊はあるか。

答 旅費の予算総額は約3000万円。海外出張でタイに行く予定。

新風 上林 富夫
かみばやし とみお

学校再編成について

問 昭和30年後半から急激に生徒数が増加し旧市内は新たな学校建設によって生徒数増加に対応した。その反対の急激な人口減によって旧市内の学校も余り気味となっている。学校を統合し余った学校を生涯学習の場に活用したらどうか。

答 学校の統廃合は避けてとおれない問題と認識している。しかし、地域の意見や保護者の合意が必要であり色々な角度からよく考える。

●子供達が安心して暮らし、遊ばせられる制度の創設は

問 全国で子供の行為による事故で補償問題に発展して困っている家庭が多い。子育てし易い街を標榜する秩父市なら、市に在住する全ての子供に市の負担で保険を掛け、家族も子供も安心して遊ばせられる制度は作れないか。

答 保険業界と行政の共同でできるかどうか検討してみたい。提案趣旨は分かるが保険料が高額であれば予算的に難しい問題と考える。

●新市庁舎への移動にあたっての体制

問 新市庁舎のスペースは現行よ



こんな状態で新市庁舎に引っ越すのか

彩政会 金田 安生
かねた やすなり

り狭いと聞いているが、新市庁舎に移動の際は事務の合理化を進める絶好の機会と思うので、思い切った事務改革をしたらどうか。

答 タブレット端末1台で予算書を始め多くの書類が入ってしまうことを考えると、コンピュータに情報を置き換え、事務を整理し机の上を綺麗にするのは良いことだ。考えてみたい。

一般質問

道路網の整備計画について



彩政会 松澤 一雄
まつざわ かずお

問 急ピッチで進む西関東連絡道路の延長工事の完成は何時か。

答 県の施工で平成20年代後半の供用開始を目指している。

問 連絡道路開通後の市街地を始め、影森、別所、久那方面へのアクセスとして長尾根トンネルの早期開削が必要と思われるが考えは。

答 長尾根トンネルの整備は、中心市街地等へのアクセス向上に大きく寄与するため、早期の事業化に向けて国・県に強く働きかける。

問 連絡道から長尾根トンネルへ続くと物流の改善から企業進出、観光客の増加等が見込まれ、経済効果が図られると思うが考えは。

答 多くの企業が企業進出の立地選定に高速道路の利用を重要視していることから開削は効果がある。また新たな玄関口として観光誘客にも寄与できるので実現を目指す。

●大雪の教訓と危機管理体制

問 最近の異常気象による夏のゲリラ豪雨、竜巻、豪雪と天候の急変による歯車の狂いは、安心安全なまちでも常に想定した備えが必要である。まれに起こる大雪、ゲリラ豪雨等に対する今後の体制は。

答 今回の大雪災害、夏のゲリラ豪雨等、今までの想定では対応しきれない災害を今後は想定内として対応する。重要課題は市民レベルの共助の仕組みづくり。その一環として事前に地域協力者の登録制、地域のボランティア隊等も臨時的なものでなく事前登録等による継続的組織体制を図っていく。



工事が進む連絡道（国道299号線付近）

◎健康づくり計画について
◎文化財の修理計画について

市が発注した太陽光発電



市民クラブ 荒船 功
あらはた いさお

問 平成25年12月議会時点では、エルゴ・サンジャパン社が県・市・民間からの事業用地に賃借権を設定登記し、金融機関の担保にする提案には応じないとのことであった。

平成24年12月に基本協定が締結されて、昨年末には発電開始の予定だったが、事業の進捗状況は。

答 平成26年に入り、エルゴ社が用地の担保権設定せず、イタリア本国から資金調達する意向が示されて現在、市では、エルゴ社との賃貸借契約の内容について精査し、最終契約案をエルゴ社に提示して回答を待っている状況である。

県との調整は、1月に農林部長にエルゴ社が前提条件を承諾したことを説明、県もできる限り、協力することを約束した。

今後の予定は、契約締結に合意した後、県への土地転賃借承認申請および承認、民間の土地所有者との契約締結を経て、秩父市とエルゴ社との土地賃貸借契約となる。エルゴ社は契約締結後、直ちに発電用パネル等設備の発注を行い、詳細な測量・設計を開始し、周辺住民への工事説明などを経て、着

工する。順調に進めば、着工からおおむね半年程度で発電開始となる。早期の契約締結および着工、ひいては発電開始について、市およびエルゴ社も共に強く希望している。



太陽光発電建設予定地